

本日の議事内容 について

本日の議事内容について（全3回の検討委員会概要）

第1回 令和4年3月28日

- ①東京都議会議員 龍円あいり都議より 事例紹介
- ②福岡市のユニバーサルデザインの取り組み
- ③インクルーシブな遊び場づくりについて
- ④福岡市の公園の概要
- ⑤舞鶴公園での実証実験の結果
- ⑥第2回実証実験について

第2回 令和4年8月31日

- ①整備指針項目（案）について
- ②整備指針策定にあたっての調査・検討状況について中間報告
- ③整備指針骨子（案）について

第3回 令和4年12月12日

- ①整備指針（案）
 - ・整備内容
 - ・維持、管理、運営
 - ・整備対象条件 など

本日の議事内容について（第二回検討委員会概要）

○第2回検討委員会でいただいた主な意見

委員名	ご意見
平井委員長	<ul style="list-style-type: none">・整備指針をまとめていく方向性としては大きくは6つの項目とその他も入れて7つ。最初の3つは遊びに関する事で、「身体的遊び」「精神情緒的遊び」「社会的遊び」。それ以降は遊びの周辺環境についてで、4番は「アクセス」、5番が「安全性」、6番が「情報環境」、7番が「その他」になっている。1番目の身体的遊びの中には身体的な自由探索、体を使った遊びができるということ。・定義はユニバーサルデザインとインクルーシブなデザインの2つの違いについて、もう少し明確にした方がいい。・今は「インクルーシブな遊具広場」と呼んでいるが、遊具が中心ではないと思うので、いろんな自然遊びもあれば、遊びだけじゃなくてということもあるので、例えばインクルーシブな子ども広場とか、もう少し実態に則した名前にした方がいいのではと考えている。
上角副委員長	<ul style="list-style-type: none">・築山や高低差も含め、普通の遊具では遊べない子もいるわけだが、お子さんによって楽しみ方は違うと思うので、遊びの広がりを妨げないことも大事。・あらゆる子どもが遊びやすいということで、動線も必要と思う。そもそも障がいがある子どもを公園に来るように仕向けられないといけない。

本日の議事内容について（第二回検討委員会概要）

○第2回検討委員会でいただいた主な意見

委員名	ご意見
清水委員	<ul style="list-style-type: none">・小高い山みたいなものは必要かというご意見については、危険と思えばそこに上がらないで別の場所で遊ぶなど、選択があればいいと思う。・私たちが外に出て一番心配になるのがトイレだ。私たちが使えるトイレは限られており、多目的トイレと、障がいがある人が使えるトイレを分けて頂き、かつ複数設けて頂ければ、行きやすくなると思う。・障がいのある子どもは「行っても遊べない」のが前提だった。意識を変えるには「使いやすい、誰でも使える遊具があり、それなりの設備が整っている」とアピールしないと足を向けようとはならない。実際に障がいがある人が使っている姿を見ることも大事だ。
野口委員	<ul style="list-style-type: none">・アンケートは、紙媒体だけではなくQRコードなどを利用して簡単にできるものも考えて欲しい。・この遊具広場を通じて子ども達がどのように遊び方のルールを学ぶには、例えば、掲示において、「こうすると良いですよ」という○マークで指示を出しては如何か。・学校では校外学習で公園などに行くが、医療的ケアが必要なお子さんへのケアスペース、人の目から離れ、ある程度の衛生的な空間があると良い。・遊具広場の目的は「理解する」「支え合う」ためではなく、自分らしく精一杯楽しく遊ぶことだと思う。結果としてそれらは体得できるものであって、そういう遊具広場を目指すべきなのではないか。
道下委員	<ul style="list-style-type: none">・QRコードのアンケートを試したが、音声で何を言っているか分からない項目があったりした。イエスカノーで答えられるなど、直接すぐ入れるものにしていただけると、アンケートが集まりやすくなる。・障がいも様々なので起伏を超えて行ける人と行けない人がいる。公園にそういった空間はあって良いが、インクルーシブな遊具広場にわざわざ行けない場所を作る必要はない。

本日の議事内容について (スケジュール)

